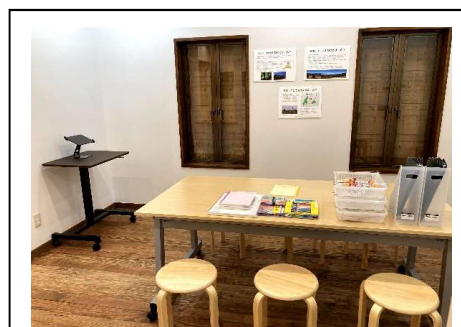


令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高ボッチ高原 保全と利用の両輪事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 塩尻市観光協会 0263-54-2001
事業区分	(6) ア
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,842,009 円 (うち支援金 : 1,473,000 円)

事業内容

- ・高ボッチ高原及びその周辺地域で、観光客がお金を落とせる仕組みを作り、そのお金を高ボッチ高原の保全や維持管理等に利用する仕組みを構築する。
- ・また、自然保護ボランティアだけでなく、観光客、周辺の学校、大学、博物館等多様な関係者を巻き込んで、維持管理を行うことにより、より持続可能な地域資源の利活用、維持管理を実施することができる。



【管理棟の整備】

【目標・ねらい】

- ① 体験プログラムの企画・実践
- ② 自然保護センター(管理棟)整備
- ③ 広報素材の収集、情報発信
- ④ 移動可能な看板の製作

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 体験プログラムの企画・実践
3回実施、30名が参加 ※コロナ禍のため大幅縮少
- ② 自然保護センター(管理棟)整備
自然保護を啓発するパネル等を制作展示
関連する書籍を購入
- ③ 広報素材の収集、情報発信
ドローン等で高ボッチ高原の魅力や過ごし方を撮影し発信
- ④ 移動可能な看板の製作
3基の移動可能看板を製作

※自己評価【C】

【理由】

新型コロナウイルス感染症拡大により、当初計画していた事業ができず一部事業内容を変更しました。来年度に繋がる準備はできた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

その眺望の良さなどから人気が高い「高ボッチ高原」だが、最近のアウトドアブームやメディア等で取り上げられたことにより、さらに多くの観光客の来場が予想される。それに合わせて自然環境の継続的な維持管理や各施設の運用ルールを整備することが喫緊の課題であり、利用と保全の両面をバランスよく実施しながらイベント参加費や施設の利用料等での収入を得て魅力ある観光地として自走することを目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある